

## 令和5年度 芸術科「書道表現」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年 D組
教科書	書道II（東京書籍）	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

- ・書道の創造的な諸活動をとおして、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動をとおして、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞する能力を伸ばす。
- ・書の伝統と文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション	書道の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写と書道の共通性と相違を理解し、書道の世界を知る。</li> <li>・用具の扱い方や、姿勢・執筆法等の基本を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への姿勢</li> </ul>
	実用の書	硬筆の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールペンを使用して、漢字の筆順・部首名・誤字の訂正・草書の熟語・文章書き等を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> <li>・授業への姿勢</li> </ul>
5	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選文</li> <li>・検字</li> <li>・印稿</li> <li>・印面整備</li> <li>・布字</li> <li>・運刀</li> <li>・押印</li> <li>・補刀</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆刻の意義と効用について学ぶ。</li> <li>・印ができあがるまでの行程を知る。</li> <li>・自分の名前を、白文・朱文で制作する。</li> <li>・篆刻の名品や各自が制作した印を鑑賞し、方寸の美を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> <li>・授業への姿勢</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の用筆法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の氏名を楷書で書く。</li> <li>・楷書の成立と特徴を知る。</li> <li>・古典の意義や拓本について学び、臨書の仕方を理解する。</li> <li>・楷書の古典を臨書し、用筆法・運筆法について理解し、基本的な点画の表現法を身につける。</li> </ul>
6	漢字の書 ・楷書			
7				
9	・行書	・行書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の氏名を行書で書く。</li> <li>・行書の成立と特徴を知る。</li> <li>・行書の古典を臨書し、特徴や用筆法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> <li>・授業への姿勢</li> </ul>
10	・草書	・草書の用筆法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の氏名を草書で書く。</li> <li>・草書の成立と特徴を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> <li>・授業への姿勢</li> </ul>

1 1	漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名の調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草書の古典を臨書し、特徴や用筆法を理解する。</li> <li>・学習した古典の表現を応用した漢字仮名交じり書の制作をする。</li> <li>・題材を自分で選択し、形式・構成を工夫する。</li> <li>・各自の作品について制作の意図を发表或し、相互批評を行ったりして、それぞれの違いや良さを鑑賞する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> <li>・授業への姿勢</li> </ul>
1 2				
1	創作	・卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習した技術をもとに書の制作をする。</li> <li>・題材を自分で選択し、形式・構成を工夫する。</li> <li>・各自の作品について制作の意図を发表或し、相互批評を行ったりして、それぞれの違いや良さを鑑賞する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> <li>・授業への姿勢</li> </ul>

### 3 評価の観点

知識・技能	・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。
思考・判断・表現	・書的美しさや良さを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	・書の創造的活動の喜びを味わい、伝統文化に関心をもって主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

書への関心・意欲・学習態度・思考・表現等を総合的に評価する。
--------------------------------

### 5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具・用材の正しい扱い方を理解し、丁寧に使用してください。</li> <li>・授業に集中して積極的に取り組んでください。</li> <li>・提出物等の課題をやりきるよう心がけてください。</li> <li>・作品の善し悪しだけでなく、作品が完成するまでの過程・取り組む姿勢がとても大事なことです。</li> </ul>
---

